

「2018年卒マイナビ大学生就職内定率調査」を発表

～ 8月の内定率は82.7%。3月から8月の全ての月において内定率が前年を超える ～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、2018年卒業予定の全国大学生、大学院生を対象とした「2018年卒マイナビ大学生就職内定率調査」の結果を発表しました。本年度の調査は今回が最後となります。調査結果の概要は以下の通りです。

< 調査結果の概要 >

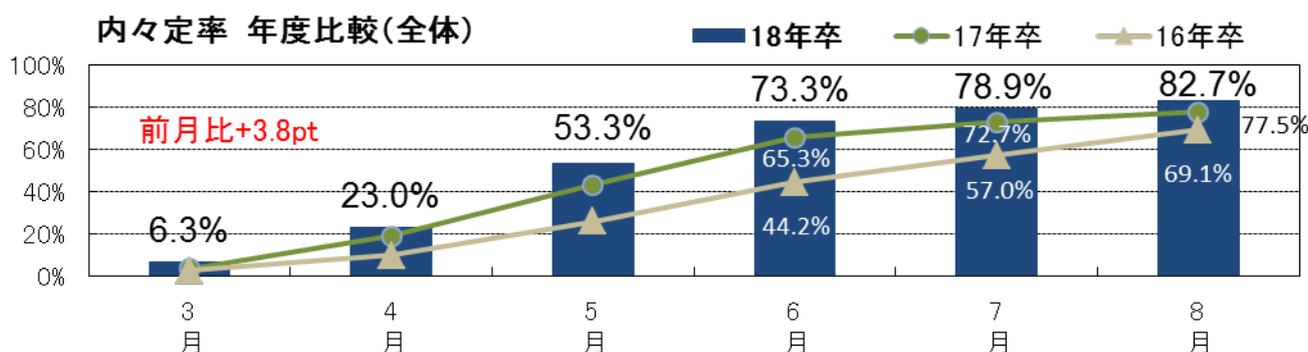
■大学生、大学院生の8月の内々定率は82.7%。3月から8月の全ての月において内定率が前年を超える

2017年8月末時点の内々定率は82.7%と前月7月末と比較して3.8pt高くなり、前年同月比5.2pt増となった。本年の内々定率は、調査期間である2017年3月から8月の全ての月において前年を超え、売り手市場が反映された結果となった。

文理男女別で見ると、8月末の内々定率が最も高かったのは理系男子で89.6%（前年比5.7pt増）だった。一方、前年と比較して最も増加したのは理系女子87.5%（前年比8.8pt増）となったほか、理系の学部、院別では、理系院生の内々定率が94.5%（前年比3.6pt増）と非常に高い結果となった。

内々定を保有している学生のうち、「就職活動を終了する」と答えた割合は82.9%（「内々定先に満足したので終了する / 終了している」と「内々定先に不満だが活動は終了する / 終了している」の合計）だった。一方で、「活動を継続する」学生は（「内々定先に不満なので続行する」と「内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する」の合計）は、男女ともに理系よりも文系の割合が高い。未内定者を含めた活動を継続する学生の割合は、回答者全体の30.1%^{*1}だった。

*1：未内定者17.3%に、内々定を保有して活動を継続する学生12.8%を合算して算出。内々定を保有して活動を継続する学生の割合は、内々定率82.7%に今後も活動を継続すると回答した学生の割合15.5%（内々定先に不満なので続行する：6.5% + 内々定先に不満ではないが他の企業も見たいので続行する：9.0%）を掛けて算出している。



「2018年卒マイナビ大学生就職内定率調査」調査概要

【調査方法】 『マイナビ2018』の会員に対するWEBアンケート

【調査期間】 2017年8月24日（木）～8月31日（木）

【調査対象】 2018年3月卒業見込みの全国の大学4年生、大学院2年生

【有効回答数】 4,672名（文系男子1,062名、文系女子1,864名、理系男子1,056名、理系女子690名）

正式内定は10月以降となるため、文中では「内々定」と表記しています。

調査結果の詳細は「新卒採用サポネット」(<http://saponet.mynavi.jp>)で公開しています

本件に関するお問い合わせ先
株式会社マイナビ
社長室 HRリサーチ部 毛塚
Tel：03-6267-4571 Fax：03-6267-4145
Email：hrrc@mynavi.jp

当社に関するお問い合わせ先
株式会社マイナビ
社長室 広報部 馬場
Tel：03-6267-4155 Fax：03-6267-4050
Email：koho@mynavi.jp